

危険物新聞

第486号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会

編集
発行人 松村光惟

大阪市西区新町1丁目5-7

四つ橋ビル

TEL (537) 9717・5910

定価 1部 60円

平成6年度 全国危険物安全大会

勝井・北野両理事 危険物保安功労者として

長官表彰受賞

消防庁、財団法人危険物安全協会では全国危険物安全大会を6月6日、午後2時より東京・スクワール麹町において開催した。

大会は紀内消防庁長官、桑原危険物規制課長、全危協福島理事長をはじめ、多数の来賓と関係者約300名出席のもと開催され、式典では、消防庁長官表彰、危険物安全週間推進キャンペーン標語最優秀作品及び優秀作品応募者表彰、財団法人危険物安全協会理事長表彰が行なわれ、また安全大会宣言で式典の部が締めくくられた。続いて横浜国大工学部上原陽一教授の記念講演「危険物の安全について」があり滞りなく終了した。引き続き午後5時すぎより懇談会に移りなごやかな雰囲気のうち午後7時すぎに散会した。

なお、当日、消防庁長官表彰の栄に輝いた危険物保安功労者並びに優良危険物事業所は次のとおりで、大阪府からは勝井孝本会理事、北野茂本会理事、東洋インキ製造株寝屋川工場が受賞の栄に輝いた。

〔消防庁長官表彰〕

■ 危険物保安功労者

- ▷湯野 敏雄 (札幌危安協連副会長)
- ▷関 恵造 (北海道危安連理事)
- ▷伊藤 恒 (秋田県危安協理事)
- ▷吉田伊三郎 (茨城県危安連理事)
- ▷高橋 直衛 (栃木県危安連副会長)
- ▷赤尾 幸市 (群馬県危安連会長)
- ▷細井 功 (埼玉県危安連理事)
- ▷金子 敬治 (埼玉県危安連理事)
- ▷平井 譲二 (千葉県危安連副会長)
- ▷田辺 勲 (武蔵野危安会)
- ▷春木典次郎 (柏江危研部会長)



挨拶される岩崎忠夫消防庁次長

- ▷霜鳥 賢三 (神奈川県危安連副会長)
- ▷加藤 弘明 (新潟県危安協代議員)
- ▷山上 啓介 (前石川県危安協会長)
- ▷登内 英夫 (長野県危安協顧問)
- ▷西村 覺次 (静岡県危安連理事)
- ▷北原 陸奥 (静岡県危安連理事)
- ▷鈴木 茂雄 (愛知県危安連副会長)
- ▷小津 弘 (三重県危安連理事)
- ▷岩永 峯一 (滋賀県危安連会長)
- ▷飯田 久勝 (京都府危安協理事)
- ▷勝井 孝 (大阪府危安協理事)
- ▷北野 茂 (大阪府危安協理事)
- ▷松浦 延哉 (兵庫県危安協理事)
- ▷吉中 正治 (兵庫県危安協評議員)
- ▷藤田 勝則 (大和高田市防協副会長)
- ▷立木 奨 (鳥取県危安連理事)

▷山崎 陽造 (島根県危保連監事)
 ▷藤田 悦夫 (岡山県危安連理事)
 ▷新原 稔 (広島県危安協副会長)
 ▷中村 宏 (山口県危安連理事)
 ▷久米房之助 (香川県危安連会長)
 ▷有藤 広恵 (高知県危安協顧問)
 ▷山口 寛猛 (福岡県危安協監事)
 ▷鈴木 二郎 (長崎県危安協副会長)
 ▷永井 光則 (熊本県危安協監事)
 ▷本郷 宣雄 (大分県危安協副会長)
 ▷新元 信義 (鹿児島県危安協監事)
 ▷山田 精一 (昭和シェル石油株川崎製油所保安課長)
 ▷只野 義明 (東北電力株八戸火力発電所発電課長)
 ▷大谷 昇 (東京電力株東扇嶋火力発電所発電部当直長)
 ▷菅井 尚夫 (三菱化成株保安環境部長日化協委員長)

■ 優良危険物関係事業所

▷東西オイルターミナル(株)銚路油槽所 ▷新日本製鉄株釜石製鉄所 ▷(株)トーキン ▷花王(株)酒田工場 ▷(株)鈴木石油商会 ▷東洋運搬機株竜ヶ崎工場 ▷リンテック(株)吾妻工場 ▷日本石油(株)岡部油槽所 ▷安藤石油株 ▷ヒゲタ醤油株 ▷中外製薬(株)浮間工場 ▷相模石油株 ▷小林石油株 ▷北陸電力(株)福井火力発電所 ▷山光石油株 ▷日本オイルターミナル(株)松本営業所 ▷高砂香料工業株磐田工場 ▷三菱自動車工業株名古屋自動車製作所 ▷東ソー(株)四日市事業所

▷東洋インキ製造株寝屋川工場 ▷(株)加藤商店 ▷中国電力(株)玉島発電所 ▷福山共同火力(株) ▷宇部興産株宇部統合本部宇部ケミカル工場 ▷(株)新出光福岡総合油槽所 ▷沖繩電力(株)火力部石川発電所 ▷東京電力(株)鹿島火力発電所 ▷九州電力(株)相浦発電所 ▷日本合成ゴム(株)千葉工場 ▷大日本インキ化学工業(株)千葉工場 ▷旭化成工業(株)延岡支社薬品工場 ▷ダイセル化学工業(株)堺工場 ▷三井東圧化学(株)彦島工業所 ▷三菱瓦斯化学(株)水島工場

■ 危険物保安功労団体

▷石巻地区危険物安全協会 (宮城県) ▷下中新川地区危険物安全協会 (富山県) ▷安城市危険物安全協会 (愛知県) ▷徳島市危険物安全協会 (徳島県) ▷伊万里市危険物安全協会 (佐賀県)

【全危協理事長表彰等】(大阪府関係)

なお、当日行なわれた財全国危険物安全協会理事長表彰の受賞者で本会の関係は次のとおりである。

■ 危険物保安功労者表彰

▷山田誠宏 (柏・羽・藤火災予防協会会長)
 ▷村本平太郎 (八尾火災予防協会会長)
 ▷岸本 豊 (富田林市防火協会会長)

■ 全危協感謝状

▷奥平好一 (大阪狭山市防火協会会長)
 ▷上田秀一 (茨木市災害予防協会会長)

平成6年度 大阪府危険物安全大会開催

6月16日、KKR ホテル大阪で

大阪府並びに財大阪府危険物安全協会共催、大阪府下消防長会協賛のもと、第4回大阪府危険物安全大会が6月16日(木)、大阪市内のKKR ホテル大阪「銀河の間」において開催した。

この大会は、大阪府危険物安全月間のメイン行事として行われるもので、消防庁より梅原危険物判定指導官を迎え、府下の消防関係者及び危険物事業所関係者、府民など約350名あまりの参加者により、盛大に開催した。

式典は1時30分に始まり、中川大阪府知事の式辞のあと優良危険物関係事業所15社、優良危険物取扱者5名、危険物保安功労団体3団体、危険物保安功労者2名にそれぞれ大阪府知事の感謝状がおくられた。

引続き、財大阪府危険物安全協会理事長表彰が行われ、優良危険物事業所14社、優良会員事業所6社、優良危険物取扱者6名、功労役員5名に表彰状がおくられ、その後第

14回危険物安全管理に関する論文優秀賞受賞者の表彰が行なわれた。

次いで、紀内消防庁長官並びに岡本大阪府下消防長会々長の祝辞があり、鴻野当協会理事長の閉会の辞で第1部式典の部を終了した。

第2部は、経済評論家今堀努氏の「平成6年度下期からの景気動向」と題した記念講演があり、午後4時頃盛會裡に終了した。

【大阪府知事感謝状】

■ 優良危険物関係事業所

▷昭和シェル石油株大阪木津川油槽所 (大阪) ▷旭硝子(株)関西工場 (大阪) ▷三菱瓦斯化学株大阪工場 (豊中) ▷(株)リコー電子技術開発センター (池田) ▷日東成形工業株 (吹田) ▷辻川染工株 (泉大津) ▷(株)西礦油店 (貝塚) ▷福塚運送(株) (八尾) ▷(株)大喜 (松原) ▷(有)幸弥商会 (箕面) ▷泉州礦油株 (泉南) ▷サントリー(株)山崎蒸溜所 (島本) ▷ユニチカケミカル(株) (堺高石) ▷近畿石油輸送(株)大阪支店 (堺高石) ▷中央理化工業株 (枚方寝屋川)

■ 優良危険物取扱者

▷平井博 (大阪) ▷延原弘己 (大阪) ▷迫田義和 (岸和

田)▷大槻一三(東大阪)▷安田重利(堺高石)

■ 危険物保安功労団体

▷富田林市防火協会 ▷河内長野市防火協会危険物取扱者
部会 ▷大東市火災予防協会

■ 危険物保安功労者

▷西村壯一(大阪市消防局)▷三好治雄(財大阪府危険物
安全協会)

〔財大阪府危険物安全協会理事長表彰〕

■ 優良危険物事業所

▷(株)瀬川商事(豊中)▷大日本インキ化学工業(株)吹田工場
(吹田)▷日立冷熱(株)茨木工場(茨木)▷(株)森下石油(八
尾)▷昭和化学(株)泉南工場(泉南)▷学校法人近畿大学
(東大阪)▷(株)ホルベイン工業(株)東大阪▷(株)山本製作所
(松原)▷(株)大石(豊能)▷(株)アルボレックス美原工場
(美原)▷(株)双葉ゴム製作所(堺高石)▷(株)私市(堺高
石)▷(有)太田燃料商会(堺高石)▷チコダコンテナ(株)
(守口門真)

■ 優良会員事業所

▷(株)西武百貨店高槻店(高槻)▷土井商店(富田林)▷中
央紙器(株)(大東)▷大阪染工(株)(島本)▷(株)長崎屋枚方店
(枚方寝屋川)▷東邦金属(株)寝屋川工場(枚方寝屋川)

■ 優良危険物取扱者

▷中川卓士(大阪)▷静谷司(大阪)▷南村貞直(大阪)
▷大塚久(大阪)▷西村正通(大阪)▷中村勝佳(柏羽
藤)

■ 功労役員等

▷武田利治(岸和田)▷千嶋秀夫(八尾)▷上田義一(棋
津)▷宮下牧郎(大阪狭山)▷花野一(忠岡)

危険物施設事故事例講習会開催

6月8日、大阪ガーデンパレスで

自治省消防庁、危険物安全週間推進協議会では、6月8日、午後1時30分より大阪ガーデンパレスに於て、危険物安全週間の事業の一環として危険物施設事故事例講習会を開催した。

本年は安全週間制定5年目にあたることから東京と大阪の2会場で行われ大阪会場では、大阪を始め西日本各県危



開会の辞を述べられる梅原危険物判定指導官

連より危険物事業所、消防関係者等約300名が参加した。

講習会は、講師に消防庁消防研究所第3研究部長亀井浅道氏より「危険物施設の漏油防止について」の講演があり続いて事故事例発表が新居浜市消防本部よりエポキシ樹脂プラントにおける事故事例、また横浜市消防局よりスロップオイルタンクの事故事例をスライドを混えて詳細説明があり聴講者は、事故の恐ろしさや危険物施設の安全性の重要性を再認識し、有意義な講習会となった。

空調設備機器製造・販売

オイルタンク用液面計
遠隔式警報ユニット液面計
各種液体タンク用液面計
フロートスイッチ・微圧スイッチ
タンク部品一式

独自の技術により、正確・安全
ローコストを追求する

GIKEN

TEL 06(358)9467(代表)

株式会社技研

〒530 大阪市北区天満4丁目11番8号 工技研ビル ☎358-9467-8

危険物の安全管理の関する シンポジウム開催される

6月3日(金)、大阪市立中央区民センター

6月3日(金)、大阪市立中央区民センターに於て、大阪市消防局主催、財大阪市消防振興協会並びに大阪市危険物安全協会協賛のもと「危険物の安全管理に関するシンポジウム」が開催された。

このシンポジウムは、全国危険物安全週間の行事として行なわれたもので、約300名の関係者が参加、14時より岡本大阪市消防局長の開会挨拶につづきパネルディスカッション



開会の挨拶をされる岡本消防局長

ョン「事故事例からみた危険物施設における自主保安対策」について討議が行われた。

コーディネーターとして三村和男氏(機東レ経営研究所特別研究員)、パネリストは安田和雄氏(ダイヤル化学工業株堺工場安全環境部長)、角田哲夫氏(日本ペイント(株)安全環境部課長)、下條澄雄氏(広栄化学工業株取締役大阪製造所長)、松村光惟氏(大阪市危険物安全協会専務理事)、本城光一氏(大阪市消防局危険物課長)の各氏であり壇上において熱心な討議が展開された。参加者も始終熱心に聴講し、充実した雰囲気の中、16時30分終了した。

堺高石消防本部・防災協会連合会 6月7日 安全大会を開催

堺高石消防本部・同防災協会連合会では、第12回危険物安全大会を高石市民会館において行った。

当日は、午後1時30分から第1部、式典に始まり危険物安全管理で功績のあった団体、事業所及び取扱者へ堺市高石市消防組合管理者並びに消防長より表彰状が送られた。

次いで第2部記念講演に移り、「企業の防災対策」が国際連合地域開発センター所長梶秀樹氏によって講演された。

保安講習申請ハガキ受付中

受講希望者は手続を早急に

保安講習の受講申請ハガキを受付中であるが、6月15日現在において、6月中の会場はすべて満席状態となっており、また7月の会場の一部についても満席会場が出ているので、まだ申請ハガキを出されていない受講希望者は早急に手続させたい。

受講手続の要領は次のとおり

- ① 受講予約の申込書(指定の往復ハガキ:府下各消防本部、予防課で配付)に希望する会場(第1希望から第4希望まで)を記入して、郵送して下さい。ただし、1事業所において、受講者が複数のときは、(受講日が異なる場合でも)封筒で一括して、送付下さい。そのときは、返信用角封筒(切手貼付)を同封のこと。
- ② 後日、受講申請日、申請場所、講習日等を指定して、返信ハガキで、本人へ通知します。(通知はおおむね受講日の2-3週間位前になりますのでご了承下さい)
- ③ 指定された申請日に、申請場所で、申請書(返信ハガキ裏面)に受講手数料(4,700円の大坂府証紙)を貼付して、申請して下さい。(証紙は申請場所で発売)申請書が受理されると、受講券及びテキストを交付します。
- ④ 申請書受付後は、いかなる理由があっても手数料、提出書類は一切返却いたしません。
- ⑤ なお、受講時間は各会場共3時間です。(開講時間は、講習会場により若干異なります。)
- ⑥ 講習当日、受講券、免状及びテキストを持参し、所定の講習(3時間)を受講すると、免状に受講済印を押し交付します。

〈給油取扱所関係講習受講は7月期に〉

給油取扱関係の保安講習会は、7月期に集中している関係上、受講希望者はこの期間に受講されたい。

10月以降の給油取扱所関係講習は、大阪と茨木の2会場のみの予定。

平成6年度 第1・2期(7月～12月)保安講習日程表

◇化学工場関係(2会場)				13	※7月15日(金)午後	*堺市民会館	堺市
回数	開催日時(予定)	会場	所在地	15	7月19日(火)午後	泉大津市民会館	泉大津市
※6	7月6日(水)午前	大阪府商工会館	大阪市	17	7月21日(木)午後	大阪府商工会館	大阪市
16	7月20日(水)午後	大阪府商工会館	大阪市	20	7月27日(水)午後	大阪府商工会館	大阪市
◇大阪北港コンビナート関係(2会場)				21	7月29日(金)午後	貝塚福祉会館	貝塚市
46	10月25日(火)午後	此花会館	大阪市	24	9月13日(火)午後	豊中市民会館	豊中市
50	11月1日(火)午後	此花会館	大阪市	27	9月27日(火)午後	和泉解放総合センター	和泉市
◇給油取扱所関係(8会場)				28	9月28日(水)午後	*富田林農協会館	富田林市
※7	7月6日(水)午後	大阪府商工会館	大阪市	31	10月7日(金)午前	大阪府商工会館	大阪市
8	7月7日(木)午後	大阪府商工会館	大阪市	32	10月7日(金)午後	大阪府商工会館	大阪市
11	7月13日(水)午後	大阪府商工会館	大阪市	33	10月11日(火)午後	茨木市商工会議所	茨木市
14	7月18日(月)午後	*岸和田競輪場	岸和田市	37	10月14日(金)午後	八尾市消防本部	八尾市
18	7月22日(金)午後	大阪府商工会館	大阪市	39	10月18日(火)午前	北河内府民センター・枚方	枚方市
19	7月25日(月)午後	*堺市民会館	堺市	40	10月18日(火)午後	北河内府民センター・枚方	枚方市
34	10月12日(水)午後	茨木市商工会議所	茨木市	41	10月19日(水)午後	大東市消防本部	大東市
38	10月17日(月)午後	大阪府商工会館	大阪市	43	10月21日(金)午後	守口門真商工会館	門真市
◇タンクローリー関係(4会場)				45	10月24日(月)午後	大阪府商工会館	大阪市
22	9月3日(土)午後	大阪府トラック総合会館	大阪市	47	10月26日(水)午後	摂津市消防本部	摂津市
23	9月10日(土)午後	大阪府トラック総合会館	大阪市	48	10月27日(木)午後	高槻市消防本部	高槻市
36	10月13日(木)夜	*臨海センタービル	堺市	49	10月28日(金)午後	高槻市消防本部	高槻市
44	10月22日(土)午後	*臨海センタービル	堺市	52	11月9日(水)午後	大阪府商工会館	大阪市
◇その他・一般(29会場)				53	11月14日(月)午後	吹田メイシアター	吹田市
※5	7月5日(火)午後	*堺市民会館	堺市	54	11月21日(月)午後	大阪府商工会館	大阪市
※9	7月8日(金)午後	大阪府商工会館	大阪市	57	12月2日(金)午後	大阪府商工会館	大阪市
10	7月13日(水)午前	大阪府商工会館	大阪市	58	12月7日(水)午後	大阪府商工会館	大阪市
12	7月14日(木)午後	大阪府商工会館	大阪市				

注1. ※印の会場は、6月15日現在ですすでに満席状態となっています。

注2. 講義時間は3時間です。
(開講時間は講習会場によって若干異なります。)

注3. 会場欄中*印の会場は駐車可。
(ただし、堺市民会館は有料。)

第3期(平成7年2月期)の予定は次のとおりです。

- 大阪市内 4会場(うち「化学工場関係」は1会場)
- 東大阪、茨木、堺 各1会場

協会だより

■ 大危協中方面部会開催

大危協中方面部会では5月23日午前11時、松原商工会議所において、石橋部会長以下5協会長出席のもと、相談役松村専務理事、参与である関係消防本部消防長等のご臨席のもと開催。平成5年度事業報告、決算並びに監査報告、平成6年度事業計画案、予算案が提案され、4議案いずれも原案のとおり承認された。その後情報の交換、申し合わせ事項として総会、研修会開催の輪番制、研修のあり方等について討議され滞りなく終了した。

■ 高槻市火災予防協会 創立45周年記念式典開催

高槻市火災予防協会では、昭和24年協会創立以来、45周年を記念し、5月17日午後14時30分から高槻市消防本部において記念式典を挙行了。式典には、高槻市助役他多数の来賓や会員が出席して開催、協会育成功労者として市長表彰をはじめ消防長表彰、協会長表彰が行われ、また記念事業として協会より記念品の目録が贈呈された。

式典終了後、高槻市消防音楽隊による記念演奏会が催され、続いて会場を“たかつき京都ホテル”に移し多くの出席者の下、祝賀会が盛大に開催された。

■ 大阪狭山市防火協会 設立20周年記念式典開催

大阪狭山市防火協会では、昭和49年協会設立以来20周年を記念し、5月20日午後5時から大阪狭山市立総合体育館において記念式典を挙行了。式典には、大阪狭山市市長をはじめ多数の来賓と会員が出席して開催、市長より感謝状の贈呈が行われ、引き続き記念祝賀会が開催された。

なお、記念事業の一つとして、協会より記念品の目録が贈呈された。

研究論文入選作決まる

平成6年度 優秀賞は佐々木氏に

(財)大阪府危険物安全協会では「第14回危険物安全管理に関する論文」を募集していたが、このほど入賞作品が決定した。今回の募集には府下の各危険物事業所から22点の優れた作品の応募があり、慎重に審査の結果、優秀賞に佐々木多四郎氏、優良賞に河本、立花両氏、佳作として藤井、大雄、中村各氏がそれぞれ入選した。

◎第1部 製造、取扱い部門

〈優秀賞〉

- ・「災害防止の手法考察と今後の志向」
佐々木多四郎 (株)中山製鋼所

〈優良賞〉

- ・「中小企業としての安全管理の取り組み」
河本敏男 (日精化学工業株)大阪工場
- ・「危険物の安全管理について」
立花 實 (大三化成株)

〈佳作〉

- ・「化学工場の防災活動について」
藤井武司 (大日本インキ化学工業株)

◎第2部 貯蔵、流通、販売部門

〈佳作〉

- ・「危険物 (事故とタイミング)」
大雄光行 (オオトリ石油ガス商会株)

◎第3部 その他の部門

〈佳作〉

- ・「危険物の安全管理について」
中村 勲 (関西電力株)春日発電所

ヤマト消火器株式会社が社名を変更し、
ヤマトプロテック株式会社として、
大きく、はばたいています。
今後ともよろしくお願ひいたします。



ヤマトプロテック株式会社

東京本社 〒108 東京都港区白金台5-17-2 TEL. (03)446-7151代
本 社 〒537 大阪府東成区深江北2-1-10 TEL. (06)976-0701代

■営業品目■ ヒル防災設備/プラント防災設備/避難・警報設備/家庭用防災機器/各種防災機器/各種消火器
名古屋・札幌・仙台・新潟・大宮・八王子・千葉・横浜・静岡・富山・神戸・尾道・広島・松山・福岡・鹿児島/大阪工場

〈平成 6 年度募集研究論文 優秀賞受賞作品〉

「災害防止の手法考察と今後の志向」

株式会社 中山製鋼所

佐々木 多四郎

はじめに

当社の本社船町工場は大阪市大正区の西南端、木津川の本流と運河に囲まれた船町にあって、昭和14年に我が国では民間で2番目に高炉を設置して鉄鋼一貫体制を確立した歴史のある製鉄所であります。

製鉄所は概ね臨海部に位置し、装置産業としては広大なもので、例えば、

- ①保安電力確保の為の自家発電所の保有
- ②高炉、転炉、コークス炉からの副生ガスの回収貯蔵と燃料用供給。
- ③冷却水確保の為の海水、工水、上水の取水とリサイクル供給。
- ④製鉄原料、成品等の屋内・外一時貯蔵。
- ⑤製鉄原料、成品等の搬入の陸・海運送。
- ⑥空気液化分離装置による液化酸素・窒素等の製造・貯蔵とガス化供給。

等の施設や作業をベースに本来の製鉄業があります。従って、製鉄業は関係する諸事業の安全対策も考慮した総合的な保安の確保の下で操業の安定化を推し進めております。

製鉄所で取り扱われる危険物は、主として圧延機等で使用される油圧・潤滑油、加熱炉等で消費される石油燃料ですが、夫等とは別に高炉の助燃材の石炭・コークスに代表される指定可燃物も大量にのほります。

当工場の危険物施設は製造所・1、貯蔵所・10、取扱所・16で総量は指定数量の2,150倍、少量危険物貯蔵取扱施設は17で総量は10倍、指定可燃物施設は19で総量は19,000

倍になります。

昭和63年以降の消防法令の大改正で、法定・条規規制から除外された施設も多くありますが、危険性は何ら変わらないので施設や取扱の管理については従前と同様に引き締めております。

さて、当工場は昭和63年初めに続けて起こった火災事故を契機に抜本的に保安施策を講じ、一部を本協会にもご報告させて頂きましたが以来6年を経過して企業を取り巻く経営環境も様変わりしている中、もう一度色々な施策を振り返り、次に効果があったと思われるポイント及び今後の課題については不得手な記述ではありますが何らかのご参考になればと整理してみた次第です。

尚、どの事業所でも実施されているような共通的な保安推進事項、例えば啓蒙・教育訓練・5S・危険予知・巡視制度等々の諸活動の内容は、紙面の関係で省かせて頂きます。

1. 企業の今後の志向

現在、各企業は総じて長引く経済不況で経営が悪化し、先行き不透明も加わって当社でも自助努力で危機を打開する、いわゆるリエンジニアリング、リストラクチャリングの策定・実施が進められつつあります。

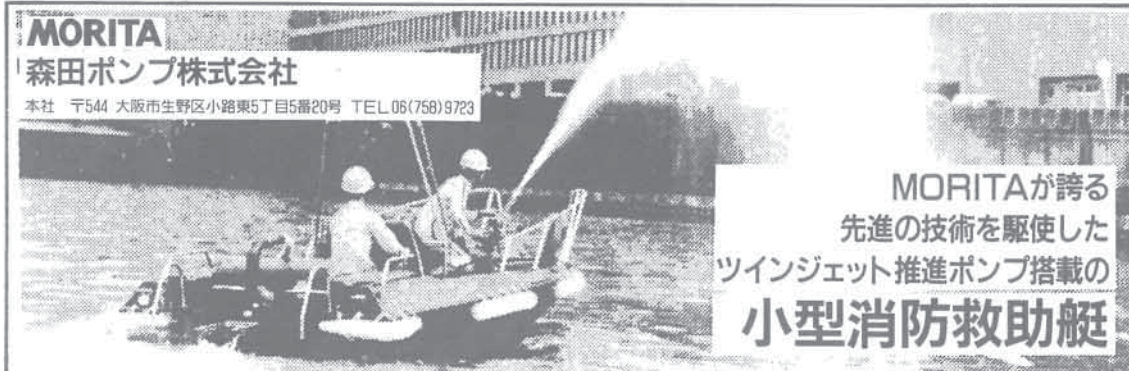
企業の競争力は『品質、価格、納期、サービス、情報』と言われておりますが、中でも国内外との価格競争で生き残る為には企業のコストダウンは避けて通れない道であり、今後各企業共、組織・要員のスリム化も急速に進むものと

MORITA

森田ポンプ株式会社

本社 〒544 大阪市生野区小路東5丁目5番20号 TEL.06(756)9723

MORITAが誇る
先進の技術を駆使した
ツインジェット推進ポンプ搭載の
小型消防救助艇



思われます。

従って、企業の今後の志向は職場要員の『少数化』が進む環境下において、設備的、管理的補強と自己啓発・多能化等を軸にした『精鋭化』が強く求められる事になります。

『保安の確保』の企業理念は不動のものとしても、これからは『少数精鋭化』に相応しい新しい自主保安の進め方を確立し、展開して行く必要があると考えおります。

2. 意識改革について

(1) 企業経営のトップの概

直近の社内防災最高議決機関である『防災審議会』で、当工場の労働災害多発の傾向に対して、社長より特に指摘を受けた内容の一部を参考にご紹介させて頂くと、先ず『安全なきところ、生産なし』とされた上で、

① 社内では言葉が先行している。

『安全第一』『火の用心』は、お題目でなく実行する事が大切。

② ヒヤリ事故の取扱い。

単に僥倖に恵まれただけで、最悪の事態を予測して対策を樹てる事が必要。

③ 原因追及と対策確立の要(か)なめ。

原因が本人の不注意や落ち度という表面を捉えるだけでは、真の対策は確立出来ない。

その他は省略すると、大局的に見て当社の実情をズバリ指摘されたもので、私達その掌に当たる者にとっては何とも心強い内容である反面、心臓に突き刺さる思いの指摘でありました。

現在、最近にない5ヶ月を超える完全無災害を継続中で、このように『安全の確保』については、経営トップからの大所高所から見た“概”“指摘”も極めて大きなインパクトを与えるものと言えましょう。

(2) 訓練についての原点の認識

当工場では各職場毎に毎年、色々な訓練が計画され実施されていますが、一部マンネリの声も耳にする事があります。

しかし訓練の最終目的が、不幸にして事故災害に至った時の『被害の最小限化』であるとしても、最小限化の展開は保安の体制と組織の従業員、いわゆる人に負うところが大きいと思います。

人が災害に直面した時、正常であり得る人は極めて少ない筈で、内容によっては失神したり、腰が抜けたり、声の出せない人も居るので、個人の意識のレベルを興奮状態(パニック)から緊張状態にいち早く戻せるような事が訓練の基本目的だと確信しています。その上で本来いざ、という時に平素の訓練が生きて来ると思っております。

事実、当工場は当然の事ですが、防災訓練を活発にやっておられる事業所でも発災本番時は、その成果が発揮出来なかった例も多く聞き及んでおり、従業員の心理的涵養が優先されるならば訓練にマンネリ化は無い事になるので各職場にアプローチし、訓練計画の基本から再度見直しを求めています。

(3) 事故事例収集の真意と活用

近年、不幸な事に多くの死者を伴った災害が毎年のように発生しています。率直に言って私達は、災害発生後の痛さを或る程度味わっているだけにその都度、自分の事業所ならどうしていただろうか、と当事者的立場になって考えざるを得ません。

私達は、事業所内で故意に災害を起こして学習する訳にはいきません。この為少なくなって来たとはいえ社内外の貴重な災害事例を自己体験的に学び、自分の職場に置き替えて討議し、ハード・ソフト両面を補完して類似災害の防止に努めなければなりません。

災害事例の取扱いは、皆の記憶が新しい間に素早く詳細を収集して職場に流す事も緊迫感を持たせる上で非常に重要であります。

色あせた情報も貴重ではありますが、気の抜けたビールは誰も飲んでくれません。私達防災担当者は、他者の災害情報の収集にも色々な障壁はあるものの、熱を注ぐ由縁でもあります。

(次号へ続く)



HATSUTA

株式会社 初田製作所

大阪本社 〒573 大阪府枚方市柏原田道3-5 TEL.(0720)56-1281代
東京本社 〒105 東京都港区芝大門2丁目6-7 TEL. (03)3434-4841

原点はロスフリーベンションです。



ハツタは、あらゆるセーフティニーズにおこたえする企業をめざします。

頑固な夢が
そこに
ある。